

# 生徒指導通信

令和2年度 4月号

青森県立大間高等学校 生徒指導部

令和2年 4月14日(火)発行

Vol. 1

文責：主任 船水 紀明

## 君たちはどう生きるか。

入学、進級おめでとうございます。  
新型コロナウイルスの影響により、  
学校生活再開が危ぶまれましたが、  
無事入学式・始業式を終え新学期の  
スタートを切ることができました。  
感染予防策を継続して行い、学校  
生活の継続をはかりましょう。  
さて、今年度生徒指導部主任を務めることになりまし  
た私から挨拶を兼ねて決意表明をしたいと思ひます。

「私は、本気で生きる人間を育てたい。」

これは、私が教員になろうとした時の志望理由です。  
私は、母校での高校生活の三年間がこの考えに大きな影  
響を与えてくれたと今でも思っています。だから生徒達  
にも、「この高校で良かった」と思える充実した高校生活  
と人生を過ごしてほしい、目標に向かって全力で取り組  
む人間になってほしいと常々思っていました。しかし、  
いつからか私は「立派な社会人になってほしい」から「悪  
い社会人になってほしくない」と注意ばかりするようにな  
ってしまいました。私は間違えていたと、担任を離れて今  
の立場になってから痛感しました。

私は初心にかえり、教員を始めたころの気持ちで、生  
徒指導部主任の職責を果たしたいと思ひます。

そして「君たちはどう生きるか」の問いに私は、「いま  
を生きる」と答えます。ウイルスのせいにせず、今でき  
ることに全力で取り組んでください。  
どうか彩りある高校生活となりますように。(船水)



## ★生徒指導部スタッフ紹介&今年度の重点目標★

今年度の生徒指導部は、以下の4名で指導にあたります。よろしくお願ひします。

船水 紀明 (ふなみず のりあき)	主任、社会、陸上競技部
三浦 恭祐 (みうら きょうすけ)	副主任・生徒会担当、数学、陸上競技部
藤本 尚之 (ふじもと なおゆき)	生徒会担当、体育、ラグビー同好会
藤原 奏子 (ふじわら かなこ)	養護教諭、ボランティア活動部

また、今年度の生徒指導部の目標を、「社会人となるために」以下のように設定しました。

- 1 問題行動及びいじめのない学校の実現
- 2 環境整備の徹底
- 3 自己有用感の育成 (※自分が「誰かの役に立っている」と思う感覚)

いじめ対策については、学校として特に重要な課題で、高校は「大人」になる準備をする場所です。人の痛みに敏感になり、感情の好き嫌いを抜きにして「やるべきこと」と「やってはいけないこと」を判断し行動できる生徒の育成を目指していきます。

## ★5月の予定★

8日(金)	情報モラル教室
12日(火)	フラワーデー
18日(月)	授業公開(～20日)
18日(月)	避難訓練①
27日(水)	交通安全・防犯教室
28日(木)	高校総体前期(～31日)

5月2日(土)から5月6日(水)まで連休となります。部活動の遠征や大会等が中止となりましたが、個々に目標を持ち続けることは大切なことです。遠征がなくても、大間高生として責任ある行動を心がけてください。諸注意は連休前に配付しますので、保護者の皆様も必ず御一読のほどお願ひいたします。

**※何かあったら必ず学校に連絡を！**  
**【大間高等学校 37-2109】**